



▲時折冗談を交えながらも真剣な表情で語る組坂さん

### 福津市人権講演会 差別はなくさなければならない

人権週間の最終日、12月10日に福津市人権講演会を市中央公民館で開催しました。講演会は、男女がともに歩む一行詩優秀作品の表彰と男女がともに歩むまちづくり推進モデルの推奨団体の発表後に開催しました。講師を務めた部落解放同盟福岡県連合会委員長である組坂繁之さんは「全国水平社100周年と世界人権宣言」というテーマで講演。組坂さんは、自分自身も部落差別を受けた当事者であることを始め、部落差別をなくさなければならないと声を上げてきた人々との出会いやエピソードを紹介していました。



▲ペットボトルキャップを張り付けながら地球の大陸や海を確認する吉田さん

### 第17回環境フォーラムinふくつ ゼロ・カーボンシティの実現に向けて

毎年好評の環境フォーラムをイオンモール福津で12月17日に開催しました。始めに原崎市長が、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロ・カーボンシティ宣言」を行いました。その後、皆さんの環境への意識を少しでも高めてもらおうとさまざまなイベントや展示などを行いました。福岡市から訪れた吉田旺祐さんは「環境のことを今まで意識したことはなかったけどイベントは楽しい」と話していました。

### JOCジュニアオリンピックカップ 優勝 大会・高校新記録を樹立

JOCジュニアオリンピックカップ第16回 U18陸上大会男子3000m競歩で原町1区の下田悠樹さんが、高校2年生ながら大会・高校新記録を樹立し優勝しました。高校入学後、駅伝部に入部した下田さんでしたが、入部直後に負傷。フォーム修正のために競歩に取り組んだところ、すぐに良い記録が出たことから競歩を始めたといいます。高校新記録を樹立しましたが「この大会は全ての選手が出ていたわけではないので、またチャレンジャーとして努力していきたい」と、次なる大会に目を向けていました。



▲美しいフォームで歩く下田さん

### 音訳ボランティアふくつ リスナー交流会 音で届ける広報紙

音訳ボランティアふくつのリスナー交流会が、11月25日に開催されました。生まれつき全く目が見えない人や病気をきっかけにほとんど目が見えなくなってしまった人など、さまざまなリスナーが参加。会の中盤には「アフィシオンギターアンサンブル」の皆さんによるギター演奏が披露され「アメージンググレース」などを演奏しました。リスナーからは「今まで広報紙が届いても、すぐゴミ箱に捨てていた。音訳を初めて聞いて市の情報を得ることができた」と音訳をありがたく感じている声が多数上がっていました。



▲交流会に参加したリスナーの皆さん



発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集しています。掲載を希望する人はプリントした写真を子育て支援センターなかよしに持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限り、データの持ち込みは受け付けられません。

毎号先着24人で、4月生まれの赤ちゃんは2月17日(金)が受付期限です。受付、問い合わせ 市子育て支援センターなかよし(ふくとびあ) ☎35・8382  
休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日



▶写真申込フォーム

### 津屋崎千軒かき 特売会 次々と味の虜にするカキの魅力

津屋崎千軒かきの販売会が、11月19日、20日の2日間、お魚センターうみがめで開催されました。多くのお客さんでにぎわい、お母さんと訪れた芦澤煌さんは生まれて初めてカキをパクリ。普段は食卓に出ても食べないということですが、また一人、津屋崎千軒かきのファンが増えたようです。



▲カキのおいしさに笑顔がこぼれる芦澤さん

### みかん狩り交流会 雨ニモマケズ みかん狩り

福津市認定農業者協議会主催のみかん狩り交流会が11月23日に開催されました。あいにくの雨模様で開催も危ぶまれましたが、松尾会長の「楽しみにしている消費者の皆さんのために」との声に、一致団結して会場の準備。子どもたちは雨の中でも元気にみかんを収穫していました。



▲収穫したみかんを見せてくれた村田伊織さんと一真さん